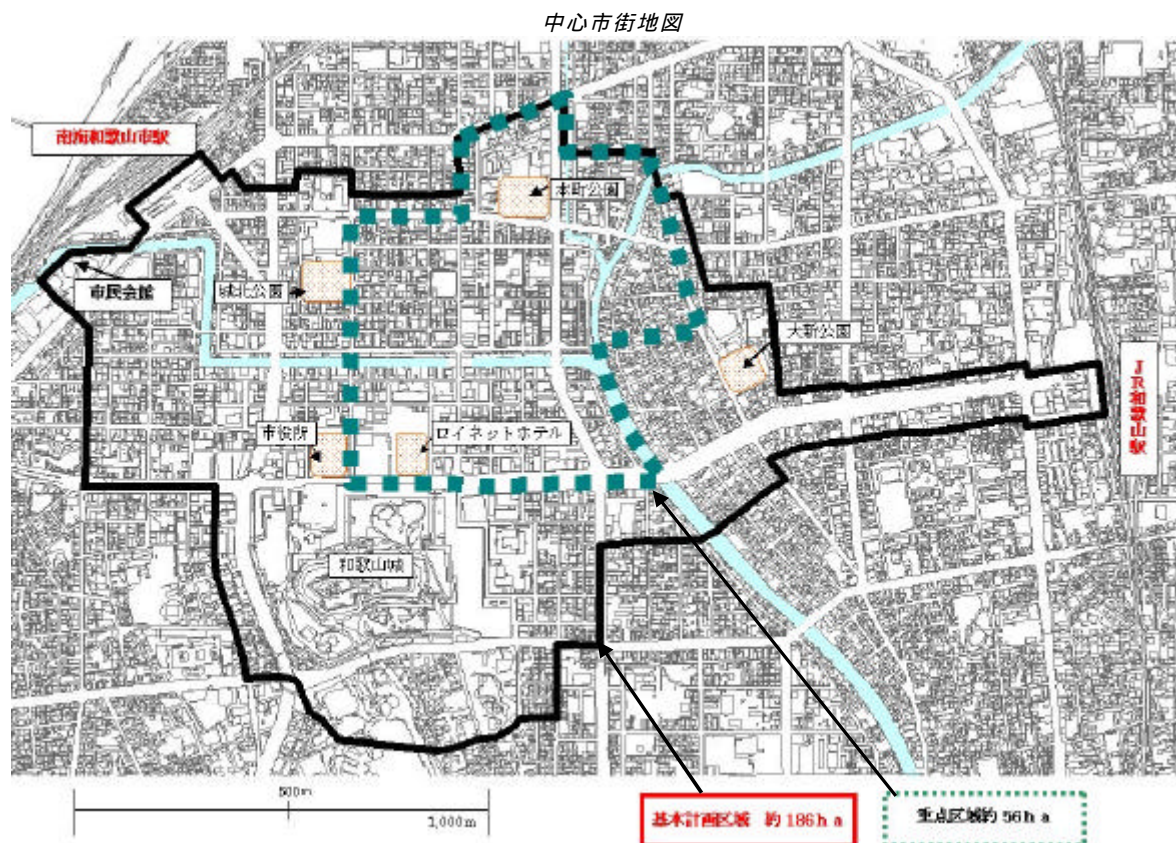


II. 中心市街地整備改善及び 商業等活性化の推進のための区域



A. 基本計画の区域

和歌山城の城下町として、古くから栄えた商店街群を有し、県下最大の商業集積地であるぶらくり丁周辺地域は、他の都市の中心市街地の多くが駅を中心とした商業集積であるのに比べ、南海和歌山市駅とJR和歌山駅の間地点に位置しているという立地上の特徴があります。しかし近年、この地域は、衰退の度合いが最も高く、整備、改善、活性化を一体的に行わなければ、今後、立地的にも著しい衰退が予想される地域であり、また活性化することで周辺に与える影響も大きい地域です。



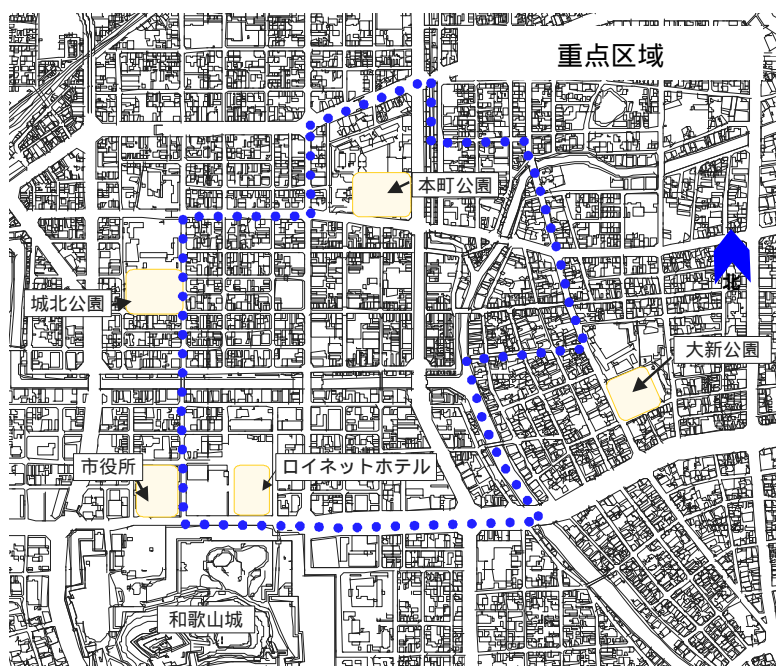
また、本市のシンボルともいえる和歌山城と連携して、観光の視点を入れた活性化を一体的に図ることは、ぶらくり丁を含む周辺地域の新たな商業集積の可能性を生み出す重要な要因となります。

さらに、市民会館などの公的施設の有無、交通アクセス、都市機能の高度化等を考慮に入れ、本計画の一体的推進を図るため、2駅を含めた範囲を基本計画区域として設定しました。

B. 一体的推進のための重点区域

基本計画区域の中でも、特に商業・業務機能が集積し、かつてより本市の顔として、象徴的存在でもあったぶらくり丁周辺地域については、本市の中心市街地活性化にあたって、重要な役割を担うことから、より効率的で効果の高い活性化を目指し、重点区域とします。

ここを活性化することにより、市全体に対する波及効果が最も高いと考えられる区域として設定されました。



(以降、本計画書では、重点区域をぶらくり丁周辺地域と表現することがあります。)